（協力医療機関との契約の内容がわかるもの：協定書（例））

※参考例としての提示です。この様式どおりに締結しなければならないものではありません。

協力医療機関協定書

　医療法人○○会○○病院（以下、甲という。）と特定非営利活動法人○○会（以下、乙という。）の間において協議の結果、通常並びに緊急時の医療行為に関する協定を締結する。

　本協定書は２部作成し、双方が各一部を保有するものとする。

第１条　乙は、○○○○事業所に通所している障害児が発病等による診療治療の必要が生じたときは、その解決のために甲に協力を求めることができる。

第２条　甲は、前条により乙から協力を求められたときは、やむを得ない事情のある場合を除き、乙に協力するものとする。

第３条　契約期間は、令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日までとする。

第４条　前各条に定めのない事項については、甲乙協議して決定するものとする。

　この協定の成立を証するため、本書２部を作成し、当事者記名押印の上、双方が各一部を保有するものとする。

　令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　甲　埼玉県○○市○○１－２－１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　医療法人　○○会　○○病院

　　　　　　　　　　　　　　　　　　院　長　　　○　○　　○　○　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　乙　埼玉県○○市○○２－１－１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　特定非営利活動法人○○会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　理事長　　　○　○　　○　○　　印